



四季の風

安全確保への意識を!

地震により、また尊い命が絶たれたことは痛恨の極みです。まずは皆様と共に、亡くなられた方の御冥福を心よりお祈りしたいと思います。

特に今回は、前触れのない登校中の時間帯だったため、決して他人事には思えず、「もし本校だったら自分はどのように判断し、どのように行動していただろうか…」と深く考えさせられました。

生徒の皆さんはいかがですか？とっさの自分の行動を想像できますか？前震を感じたときにはどうしますか？「大丈夫」とつい過信してしまいませんか？

行動に「差」が出るのは、防災教育や避難訓練の差です。決してあってはいけません。被災を経験した地域の方々の防災意識は相当で、その行動力と結束力には目を見張るものがあると聞きました。まだまだ我々の中には甘さがあるようにも思います。防災教育は、多くの犠牲の上に、残された我々のためにある教育です。まずは通学する途中に危険な箇所はないかなど、改めて一人一人が今できることから安全確保への意識を高めてほしいと思いました。

地震発生時の対応 再確認

警報は午前6時

- 前日の下校中から登校まで、あるいは登校中に「震度5弱」以上の地震が発生した場合は、臨時休業です。
- 登校中、学校に避難してきた場合、あるいは在校中に発生した場合は安全を確認して保護者に引き渡します。

緊急時は連絡が取りにくくなる可能性があります。日頃から、各家庭における連絡体制や、非常事態の際に協力し合う家庭を確認しておいてください。中学生でもあり、現在引き渡しカードは作成しておりませんが、状況によっては保護者に代わる方の確認をさせて頂く場合があります。



徳

体

知

からへ繋げて

当分の間、体育祭の余韻の中に浸っていました。振り返ってみると、本番前と本番については前号でも語ったのですが、体育祭後の縦割り朝会や、残された感謝のメッセージがとても心地よかったからだと思います。

一つの行事に取り組む際、まず大切なのは準備です。限られた時間やスペースの中で無駄を作らないための工夫は必須です。体育祭は、それが素晴らしかったし、加えてその前に縦割り掃除が始まっていたことも成功の素です。各団の繋がりが自然にできたのもこうした日頃の生活の延長線上にあると思いました。

実は、本校で「学びの変革」の一貫として取り組んでいる「カリキュラム・マネジメント」は、まさにこうした色々なことを繋げる取組です。「こなす行事」からプロセスや振り返りを大切に「深まる行事」となった手応えを感じたからこそその「余韻」だったのかもしれない。

そうすると、ここで留まっては惜しい。「徳（心の繋がり）」「体（体の健康）」ときたのですから、次はやはり「知（学びの蓄積）」と繋ぐことです。この三つのバランスがとれてこそ皆さんは真の中学生になれるのだと思います。「これからの学校生活に生かしていきましょう」と語った体育委員長の締め言葉は、まさにこれではないでしょうか。

今年は「家庭学習の充実」に向けても取り組んでいます。焦らなくてもよいです。今の自分が立てた目標を一步步高めていけば、1ヶ月、1年後にはきっと「自信」が自分に返ってきます。人と比べるのではなく、**今の自分と比べて**いって下さい。もちろん、今取り組んでいる試験勉強には、「**今できるベスト**」を尽くしましょう!!

今後の予定

6/22	金	この日まで教育相談週間(5時間)
25	月	期末試験~27日
26	火	挨拶運動 1-2, 3-1 小中合同授業研
27	水	挨拶運動 1-1, 3-2
28	木	1年生校外学習 / 2年生マナー講習

学期末は提出物へもしっかり取り組みましょう。×切を守って出すことはもちろんですが、その途中を大切にするともっと自分のためになります!

食中毒警報が発令されました。健康あつての集中力です!